

千葉県立園生小学校 六年 福興 佳倫

ーまーい

電気を上手に使おう

私の部屋は、毎日、たくさんのエネルギーを使っている。金魚の水ろり、電動えんひつけずり、電子ピアノ、そして、部屋のあかり、でも、2階の私の部屋だけかたくさんの電気を使っているわけではない。

ある日の夜、ママが台所で「バッテリーしている時だった。私はおなかかすいて、ごはんまだら？」

と、いいに2階の自分の部屋からリビングに行った。下におりると、兄はあったかい湯でぬくぬくしながらテレビを見て、ママは台所で火を使っていたため物をしながら、デジメンジで残っているごはんをあたためようとしていた。一方、パパはお風呂で「ジャー」

といきおいよく「ワー」を出していた。全員のそれぞれ電気を使っていたのだ。ママは「テレビがついている時にデジメンジを使うと、ブレーカーがおちるといっていた。と、い

千葉市立園生小学校 六年

福與佳倫

こま

し、兄がテレビを見ているのに、ママが電子レンジで今まさにポロコをおそうとしていた。それで

「ブレイカーおちちやうよふる」
と私がいおりとしたそのしゅん間

「バ」
と「っせい」に、家中の電気かどまった。
「わっ」

おふるからはパパの声、台所からは
「さいあく」

と「っせい」に、ママの声かまこえた。

電気は私たちの生活の中ではなくてはならない便利なものだけど使いすぎると地球温暖化が進む。人間の生活を豊かにするために地球が病気になるってしまうのだ。私たちは、私たちの住む地球を守らなくてはいけない。だから私の家のブレーカーがおちるのは困るけど、これで「電気を使いすぎないように」
と私たちにサインを送っているのだからかたいなと思っただ。